

正進幼稚園 令和2年度自己評価

1. 教育方針、目標、重点目標について

<教育方針>

『たたくまい教育』を柱に、21世紀を担う子どもたちに「自ら考え、自ら行動する力」を育み、社会生活に必要な資質の基礎を形成する。

<教育目標>

「知・徳・体」のバランスが取れた子どもを育成する。
 目指す子ども像・・・よく考え、豊かな創造力を持つ子ども(優れた知能)
 みんなと仲良くできる子ども(豊かな情操)
 健康な子ども(たくましい身体)

2. 評価

(1)自己評価

	自己評価項目	評価	傾向と分析
目標・計画	本園の教育方針や教育目標を理解しているか	S	○園の方針や重点を理解しており、学年での短期目標を作成し、実施、評価を生み出すことができていた。コロナにより、少ない中での行事の計画実施ができ、情報交換により児童理解も十分図れている。
	本年度重点目標の達成、学年目標や指導計画を策定	S	
	本年度の学年目標の達成	A	
	学期、月毎の短期目標の作成と到達度評価の実施	A	
	季節感あふれる行事の計画、実施※実施分	S	
	園児の成長・発達の記録と指導計画への活用	S	
指導	園児一人ひとりの理解と元気づけられるような指導	S	○終礼時の情報交換、幼研の観察指導の情報などを通して、一人一人の園児への理解と指導を図ることができている。コロナ対策として子どもたちにうがい、手洗い、マスク着用の指導ができていた。
	元気な挨拶、正しい姿勢、美しい言葉遣いの指導	A	
	園児の気持ちの切り替え指導	A	
	創意工夫ある教育活動の展開と適切な学級運営	A	
	行事実施前後の意義やねらいの理解	S	
	コロナ対策の手洗い、うがい、マスクの着用指導	S	
教職員組織	園児の家庭状況や事故等の情報の共有化	S	○園児の怪我や事故の発生状況の共通確認と上司への報告や連絡の推進を更に図って行く必要がある。緊急対応が発生し、その対応や役割分の変更等を迅速にできるように改善する必要がある。そのことが、保護者の信頼と職場の人間関係の向上につながる。
	役割分担の明確さ、適切な策定と推進	A	
	所属する学年・グループ内の意思疎通と共同体制	S	
	同僚との円滑な人間関係が維持	A	
	上司の指示・命令への迅速な対応	S	
	報告・連絡・相談の適切かつ十分な実施	S	
職員研修	各種研修会に積極的な参加	A	○コロナにより、例年の外部研修への参加が出来ずにいた。講師招へいによる校内研修で技能を高め、子どもたちへの指導に生かしていた。
	研修で得た成果の指導への活用	A	
	課題意識を持った指導技術の向上	S	
	教育者としての自覚と自己研鑽に努力	S	
家庭連携	園児の状況を保護者に伝えること	S	○担任が保護者との連携や連絡の大切さを理解し、進んで連絡を取るよう努めている。今年は近くの小学校との連携がコロナ対策により図れなかった。
	保護者からの質問・意見・要望への誠意ある対応	S	
	未就園児の体験入学や園庭開放への積極的な関わり	A	
	小学校との連携や地域社会の要求への応答	B	
環境	園庭、遊具、トイレ等の施設・設備の安全性かつ清潔性	S	○コロナ対策として、機械の導入や指導の徹底が図れていた。終礼での給食評価が生かされており、おいしい給食が提供できた。施設の安全や清潔に積極的な行動が見られた。
	ぱんだランドやクルメキッズランドを有効活用	S	
	安全でおいしい給食の提供	S	
	園児の作品掲示があり、伸びを実感させる教室環境	S	
	コロナ対策としての換気、消毒に基づく環境整備	S	

S=3.5以上 A=3.0~3.4 B=2.5~2.9 C=2.0~2.4 D=2.0以下 ※4点満点

※各項目、職員一人一人が四段階で評価したものを、点数化して段階を位置づけた。